

シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系列	自動車工学		
科目名	シャシ構造		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	2年前期	・	金曜日・3・4時限あるいは5・6時限
時限数	24時限(中間及び期末試験を除く)		
担当教員名	友川 強史		
実務経験	有 ・無 国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	シャシを構成する各装置・部品の構造・機能、及びそれらの装置の役割や作動について講義する。		
テキスト	二級自動車シャシ 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車シャシ編 (日本自動車整備振興会連合会 発行)		
授業計画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第1回	MT、クラッチ、AT	各部品の構造や機能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.17~23
第2回	AT電子制御装置	電子制御の内容や変速の仕組みについて学習。 練習問題と課題プリントも使用。	P.23~30
第3回	AT油圧制御機構	油圧系統や各バルブの働きについての学習。 練習問題と課題プリントも使用。	P.30~49
第4回	CVT、ディファレンシャル	各装置の機能や構造についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.50~59
第5回	アクスル及びサスペンション	機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.65~71
第6回	エアサスペンション	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.71~79
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	電子制御サスペンション	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.79~87
第8回	ステアリングと旋回性能	機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.89~92
第9回	油圧・電動パワーステアリング	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.92~102

第 10 回	ホイールアライメント	役割や機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.119~128						
第 11 回	ブレーキ装置 A B S、 T R C	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。練習問題と課題プリントも使用	P.141~149						
第 12 回	大型系のブレーキについて	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.131~140 P.149~157						
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験							
到達目標	二級シャシテキスト範囲の各部品の特徴を捉えて、名称・構造・機能・作動の理解をし、各装置の制御について理解をする。								
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。								
定期試験受験資格	開講された全时限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した时限がある場合は、補講も完了している者。								
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>中間試験の点数</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>期末試験の点数</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="text-align: center;">60～69点 = 可、 70～79点 = 良、 80～89点 = 優、 90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>			中間試験の点数	30%	期末試験の点数	40%	平常点	30%
中間試験の点数	30%								
期末試験の点数	40%								
平常点	30%								
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が 50 % を満たしていない場合、又は、成績評価が 60 点未満の場合。								